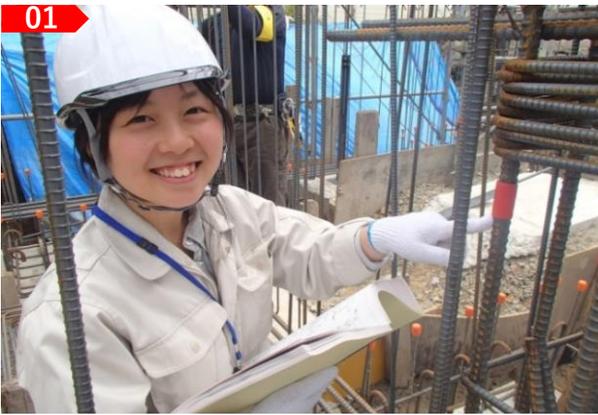


沖縄防衛局

主な採用区分

電気・電子・情報、機械、土木、建築

電気・電子・情報、機械、土木、建築区分の主な業務



01

01 防衛局で技術職採用となると、主に「防衛施設」の建設工事に従事する。

採用された試験区分に応じて、土木区分であれば自衛隊の活動拠点となる駐屯地や飛行場等の土木工事を、建築区分であれば職員が勤務する庁舎や航空機格納庫等の建築工事を、電気・電子・情報、機械区分であればそれぞれの施設の通信設備や機械設備等の工事を担当する。



02

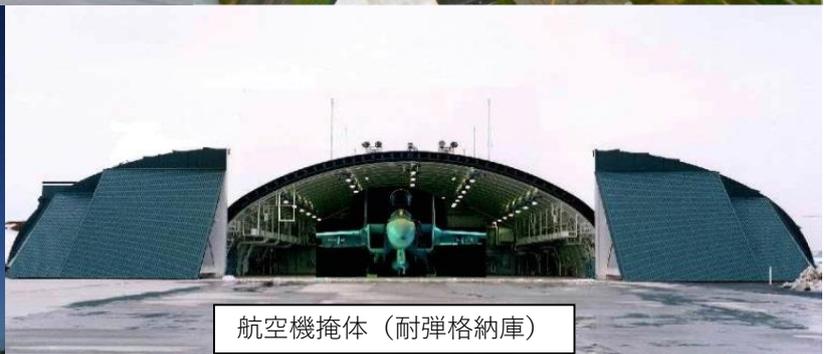
航空機整備場



滑走路



レーダー施設



航空機掩体（耐弾格納庫）

02 「防衛施設」とは、自衛隊及び在日米軍の活動拠点として使用するための施設のこと。

防衛局の技術職の大きな魅力は、自衛隊の航空機の離発着に使用する「滑走路」や我が国の周辺を飛行する航空機を監視するための「レーダー施設」など、防衛省ならではの特殊な施設の建設工事に携われることである。



①施設計画



②調査・設計



③建設工事



④完成検査

03 実際の業務は、「防衛施設」のユーザーである自衛隊や在日米軍等の関係機関と施設の配置などの全体計画を調整し、計画が定まると、建設工事に必要な各種法定手続きや測量等を行い、施設の設計図面を作成する。工事が開始されると、実際に監督官として現場に赴き、工事の進捗状況の確認や品質管理を行う。工事が完了すると、設計のとおり作成され要求される性能等が満たされているか完成検査を行い、最終的にユーザーへ施設の引き渡しを行うまでの「防衛施設」の計画から完成までの一連の流れを担当する。

先輩職員に聞く仕事の魅力！

調達部建築課係員

大塚 海斗

2021年 南関東防衛局採用（建築区分）

2023年 沖縄防衛局 異動



建築課では、返還事業にかかる米軍施設(家族住宅・巨大倉庫等)の新設工事などの「ものづくり」を行っており、在日米軍や関係部署の方々と密に調整しながら、ユーザーにより良い環境で施設を利用いただき、共に国防に向けて切磋琢磨していくために、日々業務に取り組んでいます。業務を進めていく上での工期制約などの「緊張感」や建築知識など理解しながら業務に取り組んでいく「責任感」そして、目的物が無事完成した時の「達成感」を味わうことができ、やりがいを感じています。

ぜひ、我々と共に国防に従事した「ものづくり」をしてみませんか！

■お問い合わせ先

沖縄防衛局総務部総務課人事担当

〒904-0295 中頭郡嘉手納町字嘉手納 2 9 0 - 9

TEL : 0 9 8 - 9 2 1 - 8 1 4 0 FAX : 0 9 8 - 9 2 1 - 8 1 6 5

<https://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/>

